

様式第6号(第2条関係)

委員会等の会議録

1 会議名	令和5年度愛南町自殺対策検討委員会	
2 議題	1. 自殺対策計画推進状況報告 2. 令和6年度の取組について 3. その他	
3 開催日時	令和6年2月21日(水) 15時00分から16時00分まで	
4 開催場所	愛南町役場 3階 議員協議会室	
5 傍聴者数	0人	
出席者		
6 委員氏名	長野 敏宏、影山 康彦、黒田 智洋、清家 康之、齋藤 弘文、 中尾 眞知子、保村 由加里、土居 純子、尾川 美保 高橋 伸吉(欠席)	
7 担当所属	所属名	保健福祉課
	担当職員 (職・氏名)	課長 中川 菊子 課長補佐 荒地 ミドリ 西田 昌代 保健師 吉村 那智 杉本 萌海
8 その他の 出席職員	所属名	
	出席職員 (職・氏名)	
議事内容(次ページから)		

発言者	発言内容
中川課長	(開会挨拶)
荒地課長補佐	<p>本会議の協議内容につきましては、要綱に基づき、ホームページで公開させていただきますので、御了承頂きますようお願いいたします。</p> <p>(委員紹介)</p> <p>では、協議事項に入ります。</p> <p>協議事項1、2について事務局から説明します。</p>
西田課長補佐 吉村保健師	(協議事項1「自殺対策計画推進状況報告」及び2「令和6年度の取組」について説明)
荒地課長補佐	事務局から説明のあった計画の推進状況及び令和6年度の取組につきまして、御意見等質問はありませんか。
長野委員	<p>皆さんいつもお疲れさまです。丁寧に対策を進めていただいております。私の知らないこともあってさすがだなと思って見ていました。日々、子供さん、小学生からお年寄り、公務員の方、学校の先生とか、相談に乗ることが非常に多くなって社会の厳しさみたいなものを実感していますが、そこで全く誰にも相談できていない方に出会うことが減ってきたと思います。必ずどこかにつながっていて、もちろんそれで全部救えるかという簡単なことではないのですが、きめ細やかなところで効果が出てきていることを臨床現場で実感しているところです。特に学校では、本当に意識をしてきていて10年前とは全く違う状況になってきています。先生たちの相談も多くなりましたけど、そういうことがつながり始めたなという実感をしています。</p> <p>ただコロナで皆さんの話を聞いてると、コロナはしんどかったですけどザワザワしないで楽だという方の方が圧倒的に多かった。コロナで経済が厳しくなったから今年は自殺が増えたと言っただけで単純に見ない方がいいだろうと思っていて、コロナでロックダウンした部分が大変だったという見立てだけではなく、何を皆さんがしんどく思っているのか、また緩やかに考えられるといいなと思っています。</p> <p>愛南町で実感として進められている一つは保健師さんの配置だと思います。国の政策とかデータを見ていても、愛南町の保</p>

発言者	発言内容
	<p>健師さんの配置と育成、業務の在り方は本当に宝物だろうと思っ ていて、これほど保健師さんをきちんと配置している町はあ まりないです。これから町が厳しくなる中で人の配置は厳しく なりますから、ここを守るといことは愛南町のこれからにと ても大事だと思います。また、コロナで保健所の強化がしっか りと政策化されて、宇和島保健所に若い保健師さんも配置され 訪問回数も随分増えて連携もできるようになってきましたし、 若い保健師さんが育っている様子が日々伝わってきます。保健 の重要性、健康の重要性は、まちづくりの大きな基盤に置いて おくべきと思っいて、是非守る方向でいきたいと思っいます。 財政が厳しくなると公務員の無駄な配置とかそのような話にな ってきますが、限られた財源をどこに配分するかが大事になり、 コストダウンの対象が人に向かわない文化というか、今後深め ていく上でも人がいないと何もできません。AIでは絶対でき ませんし、何かシステムができればうまくいくことでもありま せんので、人の配置を守っていくことが今後の課題になるのか と思っています。</p> <p>もう一つは、愛南町の方だけではなく、他市町村の公務員の 方とかの相談に乗るのですが、企業の文化というか、例えば行 政内の仕事の在り方とか組織の在り方に対する文化、会社の人 を大事にする文化とか、そういう文化が人を守っていることが すごく見えてきます。メンタルが弱ってきて、職場にとっては 排除に向かうような職場もある中で、愛南は比較的よく配置と か考えてくれるところが多い気はしてます。町全体で寛容と いうか人を優先的に守る町の文化、これくらいでいいよねって、 そういう許し合えるような町全体の文化づくりができるといい なと思っいます。</p> <p>今、子供さんに向かってしっかりやられてることで、10年後 には必ず町の文化が変わってくると思っし、確実に子供さんの ところは成果がすばらしいと思っのです。それが10年後20年 後に必ず生きると思っし、それを壊さないようできたらと思っ ます。また一緒にやれたらなと思っます。</p> <p>長野委員から学校や先生方もなかなか大変な状況になってる ということですが、学校教育課から現状など感想等ありました らよろしくお願っします。</p>
荒地課長補佐	

発言者	発言内容
土居委員	<p>中学校でSOSの出し方・受け止め方教室をしているのですが、いわゆる思春期が低年齢化してる関係で小学校の高学年にも少し気になるような事案が出始めているので、できれば小学校にも行っていただくといいのではないかと考えています。</p>
長野委員	<p>本当に小学校ですよ。小学校からも相談もあり、是非小学生でも始めてもらえると良いです。医療現場でも同じように、何かそんな感じがしますよね。世の中が荒れていることに関しては、より早く敏感に取り入れてしまってるところもあるし、もっと早くから子供さんたちにもと思っています。</p>
荒地課長補佐	<p>保健所の保健師さんと連携していろいろ取組をさせていただいてるのですが、保健所からお願いします。</p>
影山委員	<p>コロナの影響もありまして各保健所1名定員増ということになっておりまして、どちらかというところ感染症対策で配置はされたのですが、精神保健係も若い保健師ということで、係長の指導の下、かなり現場に入れながら頑張ってるなあと思っています。また市町の保健師さんと一緒に訪問もさせていただきながら色々な形で関わらせてもらい、必要があれば情報提供させていただきながら市町の地域に合ったような実情をニーズとして上げさせてもらい一緒にやっていけるという点では非常にありがたく思います。</p> <p>愛南町という町がすごくいい意味での田舎というか、非常にネットワークがよくできた町だということは、赴任していた時から思っておりまして、誰かしらどこかの団体というか、所属されてる、例えば無職の方でも、地域の自治会であったり、そういう人が気にかけてくれている。また、精神に障害のある方でも地域が温かく受け止めてくれる土壌があるのだろうと実感しています。今後自殺対策を進めていく上で非常に強みになるところ、長野先生はかなり御尽力されているようですけれども、引き続き効果的に対策をしていけるのかなと感じています。</p>
荒地課長補佐	<p>自殺未遂者支援について、消防署では多大な御協力を頂いているのですが御意見等頂いたらと思います。</p>
清家委員	<p>令和4年度に宇和島保健所に依頼して、こころの相談窓口の</p>

発言者	発言内容
荒地課長補佐	<p>カードを救急車に積載するようにして積極的に配布しました。現場で付添いがある場合は配付しているのですが、受取を拒否される方や、分かりましたと承諾して支援を受けられる方もいるのが現状です。</p> <p>ここ3年の救急件数、自損行為の救急件数からすると、令和5年はやや増加傾向にあり、また繰り返し薬物過剰摂取等で搬送される方もおり、年齢は10代から80代までと幅広く救急搬送しているのが現状です。搬送先についてはドクターヘリで收容したり、県外の病院又は町内病院に搬送をしています。</p> <p>自損行為があった場合には保健福祉課に連絡して連携がとれていると思います。行為を繰り返す方がいますので、事後の連携が大切だと感じています。</p> <p>それに関連しまして御協力頂いている愛南警察からお願いします。</p>
黒田委員	<p>警察は何か自殺事案が発生してから対応することが多いのですが、その時はしっかりと自殺の原因を調査するのと、事件なのか、他者が介入してないかと判断するように努めています。対策予防という意味では、相談業務で自殺をほのめかすような相談があれば、関係機関の方に情報を提供させていただいて情報共有させていただくのと、あと多いのが行方不明で、届出を受理した時には防犯カメラの調査、携帯電話の位置情報とかを警察力を総動員して何とかそれを防ぐように努めています。</p> <p>先ほど言ったように、愛南町は高齢者の自殺が多いといいますが、幸い若者の自殺は把握していないということで、先ほどおっしゃられたような関係機関の方の取組が連動しているのかと思っています。警察でも微力なのですが中学校を中心に今年度も情報モラル教室を開かせてもらい、その中でネットいじめの話もさせてもらっています。町内の小学校では情報モラル教室は開けていませんが、小学校の高学年などが携帯を持つような時代になっていますので、小学校に対しても依頼していただいたら行きますのでよろしくお願いします。今後も御協力をよろしくお願いします。</p>
荒地課長補佐	<p>ありがとうございます。高齢者の自殺が多いということなのですが、高齢者支援課はどうでしょうか。</p>

発言者	発言内容
尾川委員	<p>高齢者支援課では、食の自立支援事業など独居の方の家を訪問したり安否確認をしたり、リスクの高い方がいないか常に気をつけています。また、孤立を防ぐために、生きがいや、地域社会との結びつきというところで、老人クラブ事業等を支援しています。また事業を支援するだけでなく、各種事業の中で集まられた方には積極的に相談窓口のチラシの配布等を行って、いつでも相談できることを周知しています。</p>
荒地課長補佐	<p>自殺の原因として生活苦ということがありますが、生活支援ということで社会福祉協議会の保村委員をお願いします。</p>
保村委員	<p>愛南町社協では、生活困窮者の支援ということで、自立相談支援事業、就労準備支援事業、家計相談支援、家計改善支援事業をしています。自立相談支援事業には、現在プランは4名の方、相談継続をしている方が約4名から5名がおられます。中では、御本人に精神障がいのある方や、過去に自殺未遂をした方がおられます。この困窮者の事業が始まった時は若い方で就職ができない方が多かったのですが、最近は50代の方が多く、生活課題を重複されてる方、支援をしてもすぐに生活改善へと就労に結びつくのが難しいという状況になっています。</p> <p>コロナの関係でコロナ特例貸付けというものがあり、その貸付けは結構大きい金額で、いろいろな方に利用していただきました。今までに結びついていない方、若い方、就職しているけれども生活が苦しい方は、今まで相談に来られなかったのですが、そういう方とつながることができました。また、相談が増えているのも、社協が相談窓口になっているのが分かっていたのだと思います。今回、改めて貸付けに来られた方に、今の生活状況の確認をするためアンケートを配っています。中には生活困窮者という支援より生活保護の方がよいのではという方に保健福祉課や地方局の方の相談を勧めますが拒否をされる方もおられます。フードパントリーの食料配布を月に1回していますが、心配な方には利用しませんかと電話して生活状況の確認をするようにしています。精神障がいのある方であったり、就職が上手くいかずストレスが溜まるということで、専門的ではない部分で不安な面がありますので、保健師さんや病院の方に相談に乗ってもらったら、とてもありがたいなと思いま</p>

発言者	発言内容
荒地課長補佐	<p>す。</p> <p>地域で見守る立場として、民生委員の斎藤さんからも御意見をお願いします。</p>
齋藤委員	<p>訪問活動を通じて見守り活動をさせてもらっているのですが、最近、集落ごとでの、血縁とか、支援とかいろいろな面で保たれにくくなっている。みんなが話をして何かすることがなかなか難しいことになっている。見守り活動しかできませんけど、見守り活動を集中して、そこで早期に発見するとか、ちょっとおかしいよとか、新聞が溜まっていたり、色々なゴミが溜まったり、生活がちょっとというようなくらいしかできませんが、そういうことを発見して、民生委員は見守り活動の中でそれをずっとやっていくことが大事ではないかと思います。</p>
荒地課長補佐	<p>保健事業をしていますが、地域の方からの声がすごく入りやすい地域というか、町の特色だと感じていますので、また御協力をお願いします。健康推進員さんで活動していただいている中尾さんからも構いませんか。</p>
中尾委員	<p>ゲートキーパーの心得などの研修があり、気付き、傾聴、つなぎ、見守りがゲートキーパーの役割だとすごく気付かされました。気付きというところで、近所、親しい人には声かけもできるけれど、あまり付き合いのない人に、いきなり声かけもできないし、声かけの仕方が少し難しいかなという意見も出ていました。やっぱり緩やかなつながりで孤独や孤立を防ぐというのが施策体系にあるので、ほどよい距離を保ちながら進めていくことが大切かなと思いました。</p>
荒地課長補佐	<p>ありがとうございます。いかにも見張られていると思われると嫌な人もいると思うので、普段の生活の中で少し目配りする形で見守っていただいて、いつもと違うなと思った時に、役場でもどこでも言っていただいたら、それにつながっている方に関わってもらおうとか、役場が動くということができると思います。来ていただいている関係機関の方がみんなで見守れば愛南町、ほぼ見守りができるのではと思っていますので、よろしくをお願いします。</p>

発言者	発言内容
長野委員	<p>もう一つだけ情報提供です。自殺とか考えるときに、愛南町ではないだろうと思うような話題が最近増えてきていて、例えばゲーム課金の問題はもう随分前から相談もあり、子どもたちのゲーム課金って何十万円と簡単にいってしまいます。最近増えてるのはネットカジノの話題も随分出てきてます。ギャンブルというとパチンコや競馬、競輪が頭に浮かびますが、今はネットで全部買えるので、競輪、競馬も広がってきてますし、ネットカジノが水面下で相談を受けることが多くなっています。あと特殊詐欺みたいなもの、振り込めだけではなく、宝くじとかもかなり相談があります。かなり深刻なのが、出会い系のサイトで女性の被害です。なかなか表に出てこなくて、ネットで画像のやりとりをするので警察に相談まで至らないケースもあり、このような相談も明らかに増えています。覚醒剤も決して減っていないだろうと思っています。身近なところで相談に乗ることも多く、私たちは否定せずに受け止める力もいるだろうと思うのと、ほかの施策とか消費者庁の政策なども常に視野を広げておくことが大事だろうと思います。</p>
荒地課長補佐	<p>ありがとうございます。参考にさせていただこうと思います。その他、意見はありませんか。</p>
荒地課長補佐	<p>協議内容3のその他ですが、今の事務局の説明があった以外で皆さんに伝えておきたいことはありませんか。</p>
委員一同	<p>(意見なし)</p>
荒地課長補佐	<p>協議内容が全て終わりましたので、以上で終了したいと思います。熱心に御協議頂きましてありがとうございます。今後も自殺対策の推進に努めていきたいと思っておりますので、皆様の一層の御協力をよろしくお願いします。</p> <p>以上をもちまして、令和5年度愛南町自殺対策検討委員会を終了します。御協力ありがとうございました。</p>